

**令和4年度  
しまね流福祉のまちづくり  
活動団体 知事表彰受賞  
亀高地区高齢者クラブ**

亀高地区高齢者クラブが1月31日、住民が主体となつて取り組む地域の福祉活動のうち、特に優れた活動を行っている団体に贈られる、「しまね流福祉のまちづくり活動団体」知事表彰を受賞しました。亀高地区高齢者クラブでは、昭和51年の設立当初の頃から、地域の高齢者施設とスポーツ大会を通じた交流を長年継続しており、毎月開催するサロンを活用した健康づくり、介護予防活動や年一回の医療専門職による出前講座など、活動が広がっています。



**「災害時における  
無人航空機を活用した  
支援活動に関する協定」  
締結**

奥出雲町と奥出雲町ドローン協会の「災害時における無人航空機を活用した支援活動に関する協定」が2月27日、役場仁多庁舎で締結されました。

この協定は、自然災害など町民の生命、身体および財産に重大な被害が発生し、または懸念される事態が発生した場合に、奥出雲町ドローン協会が保有するドローンを用いて情報をいち早く把握することで、被災者の捜索や発見、救助のほか、速やかな復旧対応などに役立てることを目的としています。

協定締結に際し、奥出雲町ドローン協会の伊藤収会長は「朝有事の災害発生の際には、奥出雲町の指導のもと、災害現場の安全把握をいち早く実施し、町民のみならず安全安心に寄与できるように、協力いたします」と挨拶されました。



**第51回 医療功労賞受賞  
永生クリニック藤原卓院長**



永生クリニック院長の藤原卓医師が第51回医療功労賞の中国地方医療功労賞を受賞されました。同賞は山間部や離島などで長年、地域に密着した活動を続けた医療福祉関係者が表彰されます。

藤原医師は昭和61年に永生病院（現永生クリニック）に副院長として着任。平成2年に院長に就任されました。

着任以来、昼夜を問わない往診のほか、30年以上の永きにわたり横田高校の校医を務めるなど、住民に寄り添った医療を提供されています。本町の地域医療に大きく貢献した業績が認められ、この度の受賞となりました。

今年度は全国で35名の医療福祉関係者が表彰され、中国地方の受賞者は藤原医師を含め3名です。

**子どもたちに  
スポーツの楽しさを  
アクティブチャイルドプログラム始動**



コロナ禍や社会情勢により、子どもたちのスポーツ活動の機会が減少傾向にある中、島根リハビリテーション学院と地元ホッケースポーツ少年団が連携し、地域の子もたたちにスポーツの楽しさを知ってもらう、アクティブチャイルドプログラム（子どもたちが楽しく運動できるプログラム）が実施されました。

アスレチックトレーナーの資格をもつ、島根リハビリテーション学院の先生や理学療法学科の学生、ホッケー指導者などが集まり、それぞれの専門分野を活かして、地域で馴染みのあるホッケー競技も取り入れ、子どもたちを楽しみながら運動する機会を提供することで、子どもたちのスポーツ活動や奥出雲町で盛んなホッケー競技の振興に繋がります。

第1回の活動が2月11日、町民体育館で実施され、子どもたちは遊びを取り入れた運動メニューで楽しく運動しました。

**(株)ワールド測量設計  
町に企業版ふるさと納税**

株式会社ワールド測量設計から町に対し、200万円の企業版ふるさと納税寄付金を頂きました。企業版ふるさと納税は「企業が寄付を通じて、奥出雲町の地方創生にかかる事業を応援された場合に、税制上の優遇が受けられる仕組みで、この度の寄付は「結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業」に対していただいております。

寄附に対するお礼状の贈呈式が2月27日に役場仁多庁舎であり、株式会社ワールド測量設計の和田晶夫代表取締役は「人々が長く幸せに住めるまちづくりを目指しているという意思に賛同して、このたび寄附をさせていただきました。」と述べました。



**第10回 仁多米振  
大会開催**



第10回仁多米振興大会が2月12日、カルチャープラザ仁多において開催され、約200名が参加しました。

大会では、「ワールドライスアワードゴールド10」の受賞報告や、令和4年産米良質米品評会の表彰式があり、その後、2つの講演と栽培技術の情報提供が行われました。

講演では、広島で仁多米を使ったおにぎりを販売する株式会社MARUSHINの岡田哲男社長と、地一朗顧問から「消費者の求めるお米、ブランド米について」と題し、来店者から「仁多米のごはんがおいしい」と反応がある」と紹介がありました。また、宮城県登米市の米農家石井稔氏から安心で安全な無農薬有機栽培の取り組みについて紹介がありました。

大会の最後には、消費者に信頼される米づくり、ブランド米をめざす大会宣言を参加者全員で読み上げ採決しました。

**令和4年度住民提案型  
きらり☆輝く地域づくり事業**

町民の皆さんが自ら主体的に企画・実施する、公益性のあるまちづくり活動の支援を目的とした「住民提案型きらり輝く地域づくり事業」では今年度9団体が採択され、活動が行われています。今回は、そのうちの1団体である地域づくりフォーラム馬木の活動を紹介します。

**地域づくりフォーラム馬木**

3年前から「地域づくりフォーラム馬木」を立ち上げ、喫茶サロンやあおぞら市などを開催し、地域の活性化に取り組みられています。今回の事業では、子どもから大人まで地域のみなさまに楽しんでいただける事業を行っています。

**事業内容**

- 1 花壇の設置  
馬木農村広場に大きな花壇を設置し、春から秋にかけて花が咲き続ける公園にしようと計画されています。
- 2 イルミネーションの設置

令和4年12月から令和5年1月の期間、バス路線沿線の公民館・交流センター・集会所にイルミネーションを点灯されました。

冬場の暗く寒い中帰宅される住民の皆様を、イルミネーションで明るく迎えるため実施されました。

**【お問い合わせ】まちづくり産業課**

有線：31-5267  
電話：54-2524

